

特集

高原山水巡り



おしらじの滝

山の駅たかはらから、県道56号を塩原方面に約2キロ。車止めがしてある駐車場から下っていくこと約10分。すり鉢状の滝で、お昼頃の時間帯には、日の光が真上から差し込み、青く光り輝く。時期により水が無いこともあるが絶景だ。



創造の滝

両滝共に、県民の森管理事務所の近くの宮川溪谷にあり、容易に訪れることができる。遊歩道の周辺には、多くの花々が咲き目を楽しませてくれるほか、さまざまな野鳥が多く生息し、その声を聴くことができる。秋には、見事な紅葉が見られるなど、年間を通じて楽しむことができる場所である。



傾聴の滝



宮川溪谷

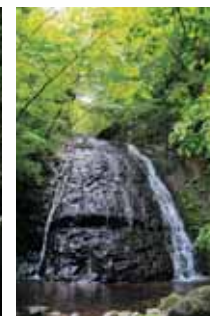


県民の森管理事務所・森林展示館



咆哮霹靂の滝

雷震の滝から、さらに進むこと30分。途中、つり橋の雷霆橋を渡り、さらに進むと見えてくる。咆哮と霹靂の2つの滝を合わせた総称である。



雷霆の滝

山の駅たかはらから徒歩1時間。その名前のとおり、雷のように大きな音を立てて水が流れている名瀑である。



山の駅たかはら

矢板市の特産品の販売やレストランで食事也能する山の休憩所。おすすめスポットの案内もしてくれる。
営業時間 9:00~16:00
※12月~3月は10:00~15:00の
金土日のみ営業 ☎(43)1515



赤滝

県道56号線を県民の森方向へ進み、「湯沢橋」を越え、林道赤滝線を進むと赤滝へ下る石段がある。地層が赤く見えるところがあることから、この名前となった。滝の横には厳かな雰囲気のある小さな杜がある。

高原山水巡り

これから夏本番。一般に標高が1000m上がると、気温が0.6度下ると言われています。山の駅たかはらの標高が約1000m。街中より、6~7度低い計算になります。また水源の高原山には、見た目も涼しげな滝や溪谷、湧水が沢山あります。あなたもマイナスイオンを浴びに夏の高原山に遊びに行ってみませんか。



「きれいな水が人を呼ぶ。」



ほたるの里づくり

水がきれいなところにすむ蛍。市内では、多くの場所で見ることが出来ます。矢板市では、平成14年から泉公民館が「ほたるの里づくり事業」を進め、現在市内の12カ所が指定され、看板が立っています。地域の皆さんが、草を刈ったり、ゴミを拾ったりと大切に生育環境を保全しています。

写真は、第一農場地区の様子です。多くの蛍が乱舞し訪れた人の目を楽しませています。



手打ちそば (600円)

手打ちのシコシコとした歯ごたえが自慢。ここの湧水を使うのが味の決め手という。

これから夏場の涼を求めたお客様が多くいらつしゃいます。高原山には、滝や溪谷、湖、湧き水など、大自然を享受できるスポットが多くあります。ぜひ一度、足をお運びください。



駅長 和氣秀明さん

山の駅たかはら

「水の力を信じてる。」

「レンゲツツジの時期には、多くの方が八方ヶ原に足を運んでくれました。そして多くの方がこの山の自然に感動し、帰っていかれました。この山にある多くの樹木は、水資源をかん養するほか、洪水や山くずれを防ぎ、緑のダム働きをしています。もちろんそれだけではなく、その自然環境の美しさは、私たちの生活に活力と癒しを与えてくれます。また新鮮な空気(酸素)の供給、防風、防音、鳥獣の生息などいろいろな働きをしてくれています。

井出の権現さま

県民の森矢板線を矢板市街から向かっていき寺山ダムの管理事務所を越えた右側に、井出水神社があります。この井出水神社の湧水は、地元の人に「井出の権現さま」と言われ、親しまれています。市内からはもちろんのこと、県外からも多くの方が水を汲みに来ます。

※生水ですので、飲料として使用する場合は、加熱するなど、ご自身の責任において十分にお気をつけてご利用ください。



夏の三滝めぐり ツアー

雷霆の滝・咆哮霹靂の滝・おしらじの滝を巡る健脚コースです。

水しぶきと自然のすばらしさが身近に感じられます。矢板岳友会のガイド付き！

開催日／7月21日(日)

募集人数／60人 *先着順

集合場所／山の駅たかはら 8:30

所要時間／約4時間(山の駅広場で昼食・汁物サービス)

参加費／1,500円(送迎バス運行無料)

申込方法／電話で参加者の氏名、住所、電話番号などをお知らせください。

そのほか／モーニング飲み物サービス(各自昼食はご持参ください。)

申込・問い合わせ／山の駅たかはら ☎(43)1515



やいたブランド認証品
「純矢板」



代表取締役 森戸康雄さん

森戸酒造

「酒造りで最も大切なもの、それは「水」です。そもそもこの地で酒造りを始めたのは、私の先祖が酒造りに適した「水」を求めて鹿沼市から移住したのが始まりです。この地区は、「泉」といい高原山の滋養分を含んだ軟水がふんだんに湧き出ています。屋号の「十一」のとおり、辛からず①、甘からず②、飲み口のやわらかな酒造りを目指していますが、この「水」がその味にとっても合っていると思っています。これからのこの地の「水」と共に、真摯に酒造りを行ってまいります。」



やいたライフ <http://www.city.yaita.tochigi.jp/site/yaita-life/>

やいたライフ

矢板の子育てや、生活の様子を紹介する矢板市公式ウェブムービー。現在、「杜氏一矢板の宝を活かして」という矢板のきれいな水や自然の素晴らしさを市内の二つの酒蔵での酒造りを通じて伝えるものと、「子育て環境日本一を目指して」という、健診時に絵本を配布する取り組みを通して市の子育て施策を伝える2つのムービーが市ホームページで公開されています。